

2019年度事業報告



学校法人 城星学園

はじめに

学校法人の健全経営とともに充実発展をはかるため、2019年度においては、理事長の「2019年度からの学園運営方針(別掲)」に基づいて、各校種が一つになって、学園の建学の精神のもとに教育活動を推進した。特に平成28年11月には大阪星光学院と連携協力確認書を取り交わし、兄妹校として様々な教育活動において連携を深め、同じ創立者の両校がさらに発展を期する中で、創立者ドン・ボスコの「こどもを愛するだけでは足りない、こどもが愛されていると感じなければならない」という言葉に代表される教育理念は、現代社会においてますます求められている。その教育理念のもとに、本学園は今後も幼小中高の各教育活動が展開される中で、子どもの成長に合わせて、一貫した教育ができる総合学園としての強みを活かして、教育活動に邁進していく。近年、特に小学校から中学校への内部進学者が減少しているが、大阪星光学院との連携を契機に、様々な教育活動における交流を活かしながら、教育改革、広報活動強化、小中連携強化によって、内部進学者の増加をはかっていく。

また、外部に対する情報公開とともに積極的な自己点検評価・学校評価が求められている。2019年度においては学園後援会との連携のもと、全保護者あてにアンケートを実施し、貴重なご意見が多数寄せられた。その結果を学園の教育活動に活かしながら、平成30年度学校評価としてまとめた上で情報公開するとともに、2020年度に向けてさらに充実した評価活動の実施と教育活動のさらなる推進に繋げていきたい。

《2019年度の学園運営方針》

1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する。(ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める。)
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する。(被災防止力、対応力を高める)
3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する。(教職員研修を体系的に実施する)
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する。(サレジオ一貫教育を強化し、大阪星光学院との連携を密にする)
5. 自然に挨拶が交わせる学園にする。(教職員の「紹介ブック」を更新し、相互認知のツールとする)

《2019年度取り組み事例》

- ・大阪星光学院との連携事業の推進。
- ・各校種の教育活動及び広報活動等(各校種の活動報告参照)。
- ・各校種の自己評価及び学校評価(全保護者アンケート)の実施。
- ・総合教育企画室の発足・室長着任。
- ・幼稚園未就園児対象の体験広場や預かり保育等による子育て支援の実施。
- ・防災実地訓練・防犯実地訓練の実施、守衛・警備の強化。外部講師による管理職向け防災セミナー及び全教職員対象の防災講演会実施、大阪女学院、大阪カトリック大司教区との防災連携の取り組み開始。
- ・学園広報活動の充実(各校種の活動報告参照)。
- ・はぐくみの園の活動、JAT(城星学園課外教育活動)プログラムの実施、城星キッズクラブの活動。
- ・事業計画の充実に向けた計画書の見直し。
- ・新任教職員対象の宗教研修・マナー研修実施。
- ・教育環境の維持向上のために、一億円規模の施設・設備投資。

次頁より、各校種の教育活動等について報告する。

1. 法人の概要

建学の精神 : 城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命とする。

所在地 大阪府大阪市中央区玉造2丁目23番26号

法人成立の年月日 昭和28年3月25日

学校設置認可年月日

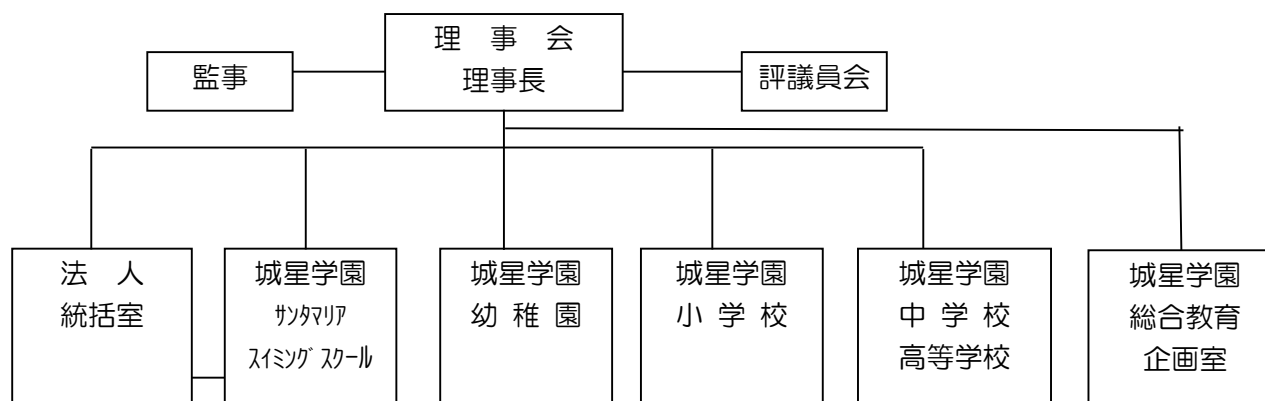
幼稚園 昭和28年3月16日

小学校 昭和28年3月16日

中学校 昭和34年2月27日

高等学校 昭和37年1月14日

学校法人 城星学園 組織図 (2019年4月1日現在)



1) 設置学校及びクラス数

(2020年度)

城星学園幼稚園	城星学園小学校	城星学園中学校	城星学園高等学校(全日制普通科)
3年保育 3クラス	1年 3クラス	1年 2クラス	1年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
2年保育 3クラス	2年 3クラス	2年 2クラス	2年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
1年保育 3クラス	3年 3クラス	3年 2クラス	3年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
計 9クラス	4年 3クラス	計 6クラス	計 9クラス
	5年 3クラス		
	6年 3クラス		
	計 18クラス		

(平成31年度)

城星学園幼稚園	城星学園小学校	城星学園中学校	城星学園高等学校(全日制普通科)
3年保育 3クラス	1年 3クラス	1年 2クラス	1年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
2年保育 3クラス	2年 3クラス	2年 1クラス	2年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
1年保育 3クラス	3年 3クラス	3年 1クラス	3年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
計 9クラス	4年 3クラス	計 4クラス	計 9クラス
	5年 3クラス		
	6年 3クラス		
	計 18クラス		

2)定員および在籍者数(各5月1日現在)

年 度	幼稚園 (定員 280)		小学校 (定員 600)		中学校 (定員 180)		高等学校 (定員 450)		計	増減 (対前年度)
	クラス	現員	クラス	現員	クラス	現員	クラス	現員	現員	
2020	9	263	18	595	6	75	9	174	1,108	△37
2019	9	279	18	600	4	77	9	189	1,145	

3)役員等・教職員

役員等:

年 度	理事	監事	評議員
2020	8人	2人	17人
2019	7人	2人	16人

教職員:

(5月1日現在) (人)

年 度	幼稚園			小学校			中学校			高等学校			法人統括室			S S			計
	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	その他	
2020	14	4	9	22	9	5	4	6	0	19	6	12	8	8	3	2	3	24	158
	計 27			計 36			計 10			計 37			計 19			計 29			
2019	17	1	8	26	9	4	3	4	1	20	7	13	10	5	5	3	3	21	160
	計 26			計 39			計 8			計 40			計 20			計 27			

4) 役員会の開催

① 理事会・評議員会

理 事 会: 2019年 5月
 2019年 8月(休会)
 2019年11月
 2020年 3月

評議員会: 2019年 5月
 2020年 3月

② 監 査: 2019年 5月

2. 募集計画及び教育計画等

()は内部進学者数。 ※別途入園者含む。

年度	区 分	幼稚園			小学校	中学校	高等学校
		3年保育	2年保育	1年保育			
2021	新入生募集人員	90	若干名	若干名	約100	50	80
2020	新入生募集人員	84	若干名	—	100	50	80
	志願者数	200	19		192	31	74
	受験者数	184	9		186	29	70
	合格者数	106	6		132	29	70
	入学者数	80	6		100(37)	24(5)	54(18)
2019	新入生募集人員	84	若干名	—	100	50	80
	志願者数	188	15		200	52	83
	合格者数	107	6		128	47	83
	入学者数	93	5		103(30)	30(6)	56(13)

学校法人城星学園 中期行動計画-2019年度のふりかえり

建学の精神:

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ(ドン・ボスコ)の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にす『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

教育理念:

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

ストレンナ 2019 (サレジオ家族の行動指針)

「聖なる者になろう (Holyness for you, too)」。聖性は皆のためにあり、神から与えられた恵みです。皆が聖人になれるのです。イエスとの深い交わりのうちに、喜び、忍耐、単純さをもって人生を歩みましょう。父・母としての愛をもって若者たちと共に歩みましょう。

上記に基づき、中期方針のもとに 2019 年度部門別行動計画を策定し、その項目ごとに年間活動の結果を○(順調)・△(課題あり)・×(不能)で評価。

《次ページ以下にその結果を示す。》

法人部門

中期方針	2019年度方針	中期行動計画	2019年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A) 福音を感じさせる施設・設備の整備を行う	マリアマザレロに関するものの展示や資料の収集	マリアマザレロの学校であることの意識向上をはかる	△
		(B) カトリック精神の理解を深める	カトリック関連宿泊研修の実施（サレジオ調布神学院、宮崎の関連施設等を候補に検討）	学園の成り立ちについて理解を深める	○
		(C) 地域への貢献を深める	城星キッズクラブの行事の充実（地域の歴史を学ぶ遠足等を、はぐくみの園との共同実施を検討）	地域の子どもたちの健全育成	△
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A) 防災・防犯マニュアルに基づく、実地訓練を行う	防犯マニュアルの改訂、津波避難の実施	有事に際し迅速に行動できる職場の意識の醸成と体制の構築	○
		(B) 地域の防災活動に目を向ける	地域の防災体制についての理解を深めるとともに地域に協力できる範囲を検討	地域との連携強化	○
		(C) 防災備蓄品を機能的に整備する	防災テント、ヘルメット、防犯器具等の導入	様々な状況に応じた備えを行う	○

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A) 在籍教職員の資質を向上させる	モラル研修の企画・実施	教職員のモラルの向上	○
		(B) 新規入職者の資質を向上させる	学園内部講師によるセミナーの開催	学園内における人材育成強化と人を育てる土壌づくり	○
		(C) 教育相談室を設置し、教職員の抱える問題に対応する	教育相談室の充実に向けた体制の見直し	組織的対応の強化と教職員の問題解決能力向上	○
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ一貫教育を強化し、大阪星光学院との連携を密にする	(A) 大阪星光学院生徒の学園施設設備利用の促進および教職員の交流を深める	教職員の合同レクリエーションを企画（※5. (B)のレクリエーションを合同で実施）	家族的交流をはかる	○
		(B) 事務部門に教育活動支援部門を設ける	水泳・ダンスクラブ活動支援、プログラミング授業支援、授業用機材の貸し出し	教育活動の充実および教育資源の効率的有効活用をはかる	○
		(C) S S スタッフによる教育活動の支援を充実させる			○

5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員の「紹介ブック」を更新し、相互認知のツールとする	(A) 教職員紹介ブックの充実	教職員紹介ブックの電子化	効率的な作成と運用をはかる	○
		(B) 教職員のレクリエーション企画	教職員家族への学園施設開放行事の実施 (※大阪星光学院教職員と合同実施)	帰属意識の向上をはかる	△

幼稚園

中期方針	2019年度方針	中期行動計画	2019年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A) 刹土の教えと、創立者ドン・ボスコとマリア・マザレロの生き方を学ぶための研修の場を設定する	キリスト教の精神に基づく教育活動を実践し、拡充する。	カトリック・ミッションスクールの教員としての意識と行動の変化	○
		(B) アシステンツァの理解を深め、マリア様、イエス様の心に倣い実践する	子どもたち自身が愛されていると実感できるよう、あらゆる教育活動を通して、愛情深く見守ると共に、保護者アンケートの結果を共有する。	保護者の学園教育方針の理解と信頼関係の構築	△
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A) 安全教育を実践する	防災・減災・防犯の知識を深める為の有効な訓練や研修（救命救急等）を実施し、交通安全指導を実施する。	子どもたちの意識と行動の変化	○
		(B) 安全・安心の為の教育環境整備を行う	危険箇所の点検と改修等、教育環境を定期的に点検し、改善する	教育の危機管理意識の向上と変化	○

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A) 教職員の資質向上を目指した研修を実施する	ア) 教育者としての意識向上とスキルアップを図る。	教員の日々の実践と習得、組織運営の活性化	△
			イ) 教員相互の円滑な人間関係作りと連帯感に基づく協働意識を醸成する。		△
		(B) 園児に関する情報の共有を図る	日常的且つタイムリーな情報交換を行う。	全園児の情報についての全教職員の認識向上と組織的な対応	○
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ一貫教育を強化し、大阪星光学院との連携を密にする	(A) 他校種の児童・生徒との交流の機会を広く設ける	ア) 中高生の保育体験実習の場を提供する。 イ) 小学校児童との交流の機会や場の設定を工夫する。	園児と生徒間にとどまらず、教員同士の連帯感と協働意識の向上 園児と生徒間にとどまらず、教員同士の連帯感と協働意識の向上	△

5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員の「紹介ブック」を更新し、相互認知のツールとする	(A) 教職員間で挨拶を励行する	「紹介ブック」を積極的に活用し、全教職員間で気持ちのこもった挨拶を励行し、交流を図る。 モラルやコンプライアンスに関する研修を行う。	職場の円滑な人間関係の構築とモラルの向上	○
		(B) 園児に対し、挨拶の大切さ等の指導を継続し、励行を促進する	常に親しみを持って交わり、保育者自身が範を示す。		良き社会人としての基本的な生活習慣の定着
		(C) より良い教育共同体作りに努める	「親の集い」や各集会等を通して意志の疎通を図るとともに連帯意識を高める。	相互の強固な信頼関係の構築	△
6. 教育計画		ドン・ホスコ及びマリア・マザレロの教育理念である予防教育法の一層の充実を図る	ドン・ホスコ及びマリア・マザレロの教育理念の研究を一層深める。	研究成果の日常教育中での活用、教育力向上	△
7. 募集計画		園の方針や活動内容の積極的な発信と「体験ひろば」の内容の充実と検証を通して、保護者への啓発を図る	ガイドブックやパンフレットを更新し、HPを充実する等、様々なPR媒体を活用して募集につなげる。	現状の新入園児95名の確保	△

小 学 校

中期方針	2019年度方針	中期行動計画	2019年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A) ミッションスクールとしての意義をより強く認識する	宗教研修を活性化する(宗教研修、ドン・ボスコ研修、1泊研修)。聖書「ヨハネ 15・11」に親しみ、具現化を図る	教員自身の意識と行動の変化	○
		(B) ミッションスクールとしての特性を具現化する	ドンボスコ・マリアマザレロ・ドメニコ・ラウレバクニャの生き方に倣う。光の子集会及びその事前・事後指導を大切に扱う。	子どもたちの意識と行動の変化	△
		(C) 保護者の理解度を向上させる	保護者対象勉強会、ドンボスコ勉強会(シスター、校長、教頭)を実施する。	保護者各位の意識と行動の変化	○
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A) 各学年にふさわしい安全教育を実施する	学年別各種教室を実施する。特に下校指導に重点を置き、教師による立番指導、巡回指導を強化する。防犯訓練を実施する	子どもたちと教員自身の意識と行動の変化	△
		(B) 危機管理研修を実施する	心肺蘇生法研修を実施する。炊き出し訓練を実施する。新1年生対象に災害時児童引渡し訓練を実施する。	けが0デーの意識化（毎週金曜日）	○
		(C) 避難訓練を実施する	全校避難訓練を年3回実施する。二次災害を考えた（津波等）避難訓練を実施する。	防火・安全点検日の着目点の確認	○

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A) 教職員研修を実施する	ア) 「リスクマネジメント」に関する研修を実施する。SNS, ライン等による弊害についての研修会を実施する。	危機管理, 保護者対応に関する研鑽	△
			イ) 新任研修会を実施する。	建学の精神と本校の教育についての理解	○
		(B) 児童に関する情報交換を実施する	学年会, 学年部会, 職員会議等において日常的に情報交換を行う。要望に応じて, 児童または保護者対象の教育相談を実施する。	全児童の情報についての全教員の共有・認識	○
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ一貫教育を強化し、大阪星光学院との連携を密にする	(A) 全校種合同研修会を実施する	合同研修会を実施する。チャレンジゼミを継続実施する。すてらの会への参加を奨励する。	全校種の教員の関係性構築	○
		(B) 幼稚園と小児童の交流会を実施する	交流会を実施する。幼小の教員情報交換会を実施する。	交流会の実施と幼小教員の連携意識向上	○
		(C) 小と中高の教員による授業研究を実施し交流を図る	授業研究会の案内及び相互参加と意見交換会を実施する。	授業見学会の実施と小中高教員の連携意識向上	○

5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員の「紹介ブック」を更新し、相互認知のツールとする	(A) 教職員間で挨拶を励行する	教職員間で気持ちの良い明るい挨拶を継続して励行する。「紹介ブック」を活用する。	本校職員としての意識をお互いに注意喚起	○
		(B) 児童に対し挨拶・会釈の指導を行い励行を促す	児童に対し静かな右側廊下歩行を徹底させるとともに、挨拶・会釈の指導を行い励行を促す。まず、教員が模範を示す	良き社会人育成の「鏡」となること	△
		(C) 保護者に対し啓発を行う	母親教室（校長，教頭，教員，講師招聘）で啓発を行う。	良き社会人育成の「鏡」となること	○
6. 教育計画		(A) アシステンツァを励行する	「いつもどこでも子どもと共に」の実践を図る。	教育成果の向上	○
		(B) ヨハネ15・11を読み深める	「喜び・学び・祈り」について具体的な行動として体現できるように支援する。	サレジオ家族としての意識化	△
7. 募集計画		(A) 学校の魅力を発信する	媒体の更なる活用を図る。本校へのニーズの分析を行う。	新入生 105 名確保	○
		(B) 説明会・オープンスクール等を実施する	内部幼稚園，各幼稚園，大手塾等への案内のみならず，近隣の塾への呼びかけと小規模説明会の実施を行う。また，内容を精選し，入試速報会を実施する	宗教教育をベースにした心技体バランスのとれた児童を育成する学校であることの周知	○

中学校・高等学校

中期方針	2019年度方針	中期行動計画	2019年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A)カトリックの精神、ドン・ボスコとマリア・マザレロの教育、特に「アッスンツァ」の理解を深める	カトリックの考えを示すローマ教皇の言葉、創立者の言葉に触れながら、学園の教育の根底にある考えを具体的に知る。	サレジオの学校の教員としての意識向上	○
		(B)生徒教員共に、祈りと自己の振り返りの時をもつ	朝礼、終礼の祈りを丁寧に、落ち着いた環境の中で行うために、司牧部を中心に各担任、副担任が指導にあたる。	「教育は心の問題である」という創立者の言葉に対する教員の意識向上	△
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A)様々な面における安全教育を向上させる	SNS使用、防犯、薬物乱用防止、防災対策のための生徒向け、教員向けの研修を行う。	教員、生徒の危機管理意識の向上	△
		(B)問題事象の早期発見、早期対応を行う。	学年と生徒指導部、教育支援、教育相談室との情報共有を密に行い、組織的に対応する。	生徒の安全確保、問題事象の早期対応	○

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A) 2020年を皮切りとする改革に向けて多様な価値を求める教育の新しい方向性を実現する。	教育企画室と共に、新しいカリキュラム、新しい取組みの導入を計画的に準備する。	教育の『質』向上	○
		(B) 女子校の教育として、礼儀、マナー、身だしなみの指導力を向上させる。	各クラスに行う礼儀作法（総合学習内）の授業をクラスの指導に生かす。	『良き社会人』としての成長促進	△
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ一貫教育を強化し、大阪星光学院との連携を密にする	(A) 「はぐくみの園」の精神に則り、15年、12年、6年一貫教育の賛同者を増やす。	「はぐくみの園」の中で、特に今年度は、中学への内部進学を増加策、中学から高校への一貫教育の在り方について、再検証する。	「学園」としての意識の向上	△
		(B) 大阪星光学院との連携による効果を形にする。	教科、部活動等、可能なところから大阪星光学院の教員と協働する機会を増やす。	大阪星光学院との連携により、本校の教育の幅を広げる。	△
5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員の「紹介ブック」を更新し、相互認知のツールとする	(A) 他校種、法人の教職員と共にあることを意識する	他校種、法人の教職員との自然な笑顔の挨拶、「紹介ブック」を用いながら顔と名前を知る。	ファミリーとしての学園への帰属意識向上	△
		(B) 社会人として、周囲に喜ばれる人を育てる	自然に挨拶の声が飛び交う心の風土づくりを行う。	『よき社会人』の第一段階を育てる。	△

6. 教育計画	(A) 中学、高校それぞれの段階における「自立」を育てる。	縦割りの活動を取り入れることによって、生徒が互いに育て合う環境を作る。	ドン・ボスコの教育法によ自立した女性を育成する。	△
	(B) 丁寧で組織的な進路指導の継続と進路実績を向上させる	高2、高3プロジェクトを生かし、大学進学実績を前年度より向上させる。	生徒の自己実現と進路実績向上に、中高の存続を賭ける。	△
7. 募集計画	生徒への予防教育の実践を通して、多様な学力をアップさせ、生徒募集につなげる	2020年教育改革、“学びの森”プランにより特色ある教育が生徒募集に繋がる。生徒へのきめ細やかな指導と、学力向上をアピールしたい。	生徒への予防教育の実践。多様な学力をアップさせることも、生徒募集には重要なアピールである。	△

3. 施設設備計画（報告）

教育環境整備の一環として、次の工事等を実施した。

工事・設備等名称			
①	体育館外壁南西面改修工事	⑬	講師控室リニューアル工事
②	中学棟 階段床塩ビシート張替工事	⑭	グリーンルーム壁他補修工事
③	幼稚園園舎窓サッシ更新	⑮	プール内タイル更新・修繕
	幼稚園園舎窓サッシ更新に伴う工事	⑯	プール内排水溝工事
④	高校棟・本館屋上防水工事	⑰	講堂 1F 理科室床張り替え工事
⑤	本館高架水槽架台塗装工事	⑱	本館 樋補修工事
⑥	幼稚園舎照明器具のLED化	⑲	講師控室 サーバーラック機器移設
⑦	空調器更新工事（講堂 1F 系統）	⑳	高校棟 PC 教室カーペット更新
⑧	高校 1F 放送室アンプ・ワイヤレスマイク更新	㉑	本館 2F 東西ベランダのガーデニング化
⑨	映像設備デジタル化・BSCS 更新工事	㉒	学園平面図作成
⑩	グラウンド・園庭 整備	㉓	電話交換機更新工事
⑪	グラウンド雲梯更新	㉔	本館 2.3F 理科室・図工室更新工事
⑫	消防設備不具合箇所更新	総額	102,141,480 円

4. 財務状況（報告）

次のとおりであるが、今後、大阪星光学院との連携協力、学園再生戦略等により中高生の生徒数の定員確保をはかっていくなかで、収支の改善・安定を求めていく。

